



Sophia ~6月号~



衣替えの季節 になりました。

6月の時候の挨拶を知っているでしょうか。「五月雨の候」は梅雨の季節なのでわかると思いますが、「麦秋(ばくしゅう)の候」がそれだと分かる人はあまりいないことでしょう。私大などの試験で、国語常識としてたまたまに出題されるこの語。意味は麦の穂が実り、収穫となる季節のことをさします。日

本では、その季節が初夏であることからこの時期の季語になったのです。しかし、お米の国日本に生まれた私たちは、6月に穀物が収穫されることに違和感がありますね。そう、日本で収穫の時期といえば、それは「秋」なんです。ところが昔の日本人は、その違和感さえも「麦秋」という新たな語を創ることで飛び越えてしまったわけです。いわば差異から新たな日常を生み出したのです。

人間関係も同じことが言えると思います。私たちは相馬高校の一学年として行動を共にしてはいますが、そもそもが差異だらけの集団です。もうすでに、「なんでそんな風に考えるの?」「私はそう考えない!」などと意見がぶつかった人たちもいるはず。その中で現代文の授業では、「それでも理解しようとするのがほんとうのコミュニケーションを生み出す」ということをやりました。授業をしていて、これは高校生に向けてのメッセージだなと思っていました。なぜなら、大人になればなるほど、自分が想像していたこと以上の人がいたり、事が起こったりすると距離を置きたがるからです。ぶつかるくらいなら、エネルギー消費軽減のために、関わらずにいた方がいいと考えるんですね。それに加えて社会に出れば、円滑に仕事をするのが目的化し、他人とぶつかることが批判されるようになります。したがって会社の同僚同士は、多くの時間を共有しているはずなのに、なかなか踏み込んだ関係になるのは難しいのです。大人になってから友達を作ることが難しいと言われる所以もここにあるのかなと思います。

さてそう考えてみれば、学生時代は差異を持つ人、苦手な人と円滑にコミュニケーションを取る練習の場である以上に、そういった人たちと公認でぶつかる場でもあるのではないかと思えるのです。これを読みながら、自分と考えが合わなかったり、苦手だと思ったりする人を考えているひともいるかもしれません。ならば、その人とはそもそも生まれも育ちも全く違うんだということを前提に付き合ってみてください。もしかしたら自分の常識や許容範囲の狭さに気づくかもしれませんし、昔の日本人のように、新しい何かを生み出せるかもしれませんよ。自分の常識に当てはまらない人こそ面白く、実は多くの事を教えてくれる人だということを胸に、多くの人にぶつかって行ってみましょう。



6月行事予定

- 6月 2日(月) 衣替え
※教室に掲示されている服装をよく確認しましょう。
教育実習開始(～13日もしくは20日)
- 3日(火) 2年次選択科目調査
※さっそく来年の自分を決めなければなりません。
- 5日(木) 歯科検診(1年1組)
心の教育プログラム
※各クラス一時間ずつ行います。授業変更に要注意。
- 8日(日) 英語検定(本校会場)
- 10日(火) 文理選択講話(7校時)
- 12日(木) 尿検査(三次)
歯科検診(1年2組～5組)
- 14日(土) 土曜解放
- 21日(土) 土曜解放

26日(木)～7月1日(火)まで

一学期期末考査です。



【生徒会役員選挙がありました。】

一年生からは6名が「監査委員」に立候補し、全員が当選となりました。今年は先輩方の補佐として力を発揮してくれることでしょう。



- 1年1組 松本光基 「必ず目に見える形で行動を起こす。」
- 1年2組 佐藤直哉 「高校生活をよりよいものにするため努力していきたいと思います。」
- 1年3組 武田美緒 「先輩方から多くのことを学んで、相高を盛り上げていきたいと思います!」
- 1年3組 山田郁美 「先輩方のサポートをしっかりしていきます。」
- 1年4組 金澤麻衣 「行事が大好きなので、全員で協力して盛り上げたいです。」
- 1年4組 藤岡愛理 「よりよい生徒会づくり、学校づくりに貢献していきたいです。」